

3 ニホンウナギ
Anguilla japonica

(ウナギ科)

兵庫県ランク:C
環境省ランク:EN

種の概要

産卵は北マリアナ海嶺付近で行い、レプトケファルス幼生が黒潮に乗って日本沿岸に達し、変態後に稚魚が河川を遡上する。川では石の間などに潜み、魚やカニなどを捕食して5～10年で全長60 cm以上に成長し、成熟する。国内分布は琉球列島から北海道に至るまで広い。ただ、北方ほど個体数は少なく、河川に遡上せずに沿岸域や汽水で過ごす個体もかなりの割合を占める。



県内における生息状況及びその他特記事項

兵庫県のほぼ全域の大河川から小河川・水路・ため池まで分布域は広いが、その数は少ない。全国的に減少傾向にあるとされる。兵庫県では確認地点数が増加傾向にあるが、これは生息環境が改善されたためではなく、日中は物陰に隠れていて採集効率の悪い本種に対する調査技術（採集技術）の向上によるものと考えられる。

写真提供:信本 励

保護上の留意点

産卵親魚は降河回遊を行い、稚魚が河川を遡上するため、海と川との連続性が確保されて、海から稚魚が成育場所まで遡上できることが必要である。遡上を阻害する堰堤などには魚道の整備が求められる。また、本種の生息には隠れ場所となる河岸の間隙や岩の間の穴などが必須であり、三面張り工法や隙間のない護岸工事は本種の生息に不適であるため、改善したい。

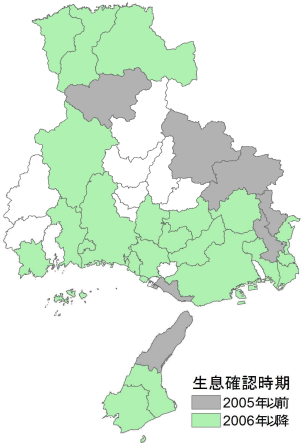
県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、姫路市、赤穂市、宍粟市、たつの市、太子町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	



生息確認時期
2005年以前
2006年以降